

科目名	校外実習 Job Training			担当教員	学科長, 4年担任		
学年	4	学期	前期	科目番号	08221	単位数	1
分野	専門	授業形式	実習	履修条件	選択		
学習目標	1. 企業で製造, 設計, 技術開発, 試験研究, 品質管理などの実務を体験する。 2. 実務体験を通じて, 将来, 技術者および社会人として自立していく意識をもつ。 3. 実務体験を通じて, 学校での勉学の意義を認識し, 以後の学習意欲の向上に役立てる。 4. 将来の進路選択に役立てる。						
進め方	4学年時の夏季休暇を利用して, 企業で30時間以上の期間実習する。内容は, 受け入れ先企業の実習教育担当者の計画や指導に従う。実習終了後, 速やかに校外実習報告書と実習証明書を提出する。校外実習報告会で実習内容を発表, 報告する。						
学習内容	学習項目(時間数)			合格判定水準			
	1. 受入企業の調査と実習先の決定(-) (1) 受入企業について実習内容等を自主的に調査し, 実習先を選択・決定する。 (2) 決定した受入企業について事業内容等を調査し, 報告書を提出する。			・決定した実習先企業の概要, 事業内容等を報告書にまとめ, 提出することができる。			
	2. 必要書類の作成と提出(-) (1) 校外実習願い, 承諾書, 校外実習申込書, 誓約書, 傷害保険契約申込書, その他企業指定の書類を不備なく作成する。 (2) 上記書類を指定された期日までに提出する。			・必要書類を不備なく作成し, 指定された期日までに提出すること。(注: 必須事項)			
	3. 受入企業での実習(30) (1) 受入企業の実習計画, 指導, 規則に従い実習を行う。 (2) 実習の目的を理解し, 常に意識して積極的に取り組む。			・校外実習証明書が発行されていること。(注: 必須事項) ・機械工学科で学んだ知識が, 実際どのように役立つのかを把握するとともに, 企業の仕組みと社会人としての心構えを理解することができる。			
	4. 実習報告書の作成と提出(-) (1) 本校もしくは企業で指定された様式に従い, 実習内容を技術系の文章として報告書にまとめる。 (2) 上記報告書を指定された期日までに提出する。			・指定された様式に従い, 実習内容を報告書にまとめ, 提出することができる。			
	5. 実習内容の発表(-) (1) 実習内容をOHP原稿(枚数指定)にまとめる。 (2) 決められた発表時間を守り, わかりやすくプレゼンテーションする。			・実習内容をわかりやすくOHP原稿にまとめ, プレゼンテーションすることができる。			
評価方法	1. 学習項目1の報告書を20%, 学習項目4の実習報告書を30%, 学習項目5の発表を50%として評価する。 2. 学習項目2の必要書類の提出および学習項目3の校外実習証明書の提出は必須事項とする。						
学習・教育目標との関係	機械工学コースの学習・教育目標との関連 学習項目1, 2, 3, 4に対し ◎: (C) 実行力, C-2 自主的, 継続的に技術的問題に取り組む力を身につける 学習項目5に対し ○: (D) コミュニケーション, D-1 日本語により, 記述, 説明, 発表あるいは討議できる論理的な思考力やプレゼンテーション能力を身につける						
関連科目	校外実習(4年) ⇔ 機械工学関連の専門科目						
教材	実習企業から指定されたもの						
備考	1. 別紙, 機械工学科4年「校外実習」の学習内容と評価方法を参照すること。 2. 希望した企業については変更不可とする。 3. 高専大会等の日程など十分に注意し, 希望企業を検討すること。						